

【参考資料 「指導事項と教材のマトリックス」】

領域	教科書教材 指導事項	Book 1			Book 2			Book 3		
		第 一 課								
		使用する教科書の各ユニット又はレッスンの特徴を踏まえどの教材でどんな指導を重点的に行うかを定める。								
聞くこと	ア 強勢、イントネーション、区切りなど基本的な英語の音声の特徴を捉え、正しく聞き取ること									
	イ 自然な口調で話されたり読まれたりする英語を聞いて、具体的な内容や大切な部分を聞き取ること									
	ウ 質問や依頼などを聞いて適切に応じること									
	エ 話し手に聞き返すなどして内容を正しく理解すること									
話すこと	ア 強勢、イントネーション、区切りなど基本的な英語の音声の特徴に慣れ、正しく発音すること									
	イ 自分の考えや気持ちなどが聞き手に正しく伝わるように話すこと									
	ウ 聞いたたり読んだりしたことについて、問答したり意見を述べ合ったりすること									
	エ つなぎ言葉を用いるなどいろいろな工夫をして話が長くように話すこと									
読むこと	ア 文字や符号を識別し、正しく読むこと									
	イ 書かれた内容を考えながら黙読したり、その内容が表現されるように音読すること									
	ウ 物語や説明文などのあらすじや大切な部分を読み取ること									
	エ 伝言や手紙などから書き手の意向を理解し、適切に応じること									
書くこと	ア 文字や符号を識別し、語と語の区切りなどに注意をして正しく書くこと									
	イ 聞いたたり読んだりしたことについてメモをとったり、感想意見などを書いたりすること									
	ウ 自分の考えや気持ちなどが読み手に正しく伝わるように書くこと									
	エ 伝言や手紙などで読み手に自分の意向が正しく伝わるように書くこと									

中学校の段階にあつては、聞くこと、話すことといった音声重視の指導を行うべきであるが、読むことや書くことの指導が疎かにならないよう、3年間を見通して重点を定めることが大切である。

指導事項はその単元で一時的に重点を置いて指導すれば良いものではなく、「ウの指導をしながら、アやイの技能が身に付いているか確認していくことが大切である。